

2022年10月18日

各位

日本ゼオン、高岡工場で統合生産センターが竣工

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 公章 以下、当社)ではこの度、高岡工場(富山県高岡市)に統合生産センター(Integrated Production Center 以下、IPC)が竣工いたしました。IPCは高岡工場における「ものづくり」の中核拠点として機能するだけでなく、屋上に設置した太陽光発電装置や省エネ対応設備の導入によりCO₂排出量削減に寄与、また自然災害対策も強化した施設です。これまで各所に分散していたものづくり部門をIPCに集約することで生産における様々な情報が一元化され、より安定・安全な工場の実現を目指してまいります。

今回竣工したIPC(愛称:劔)は、鉄骨鉄筋コンクリート造、990平方メートルの4階建てで、1階はコントロール室、2階は事務室、3階は会議室とサーバー室、4階は非常用発電機室が配置されています。総工費は16億円で、堅牢性・信頼性を強化するため、震度7強以上に耐えられる強度および、液状化対策等の実施、さらに電源系統や情報系統の冗長化を図るとともに、近接する小矢部川、庄川の氾濫を想定した高岡市のハザードマップをもとに、地盤面よりフロアを1.5m高くする構造としています。

さらに、地球環境に優しい建屋として、屋上に太陽光発電装置を設置、また省エネ対応の空調・壁材等を導入することで通常建物よりも約40%のCO₂排出量を削減する施設です。

当社では2005年2月に生産革新センターを発足し、ダイセル式生産革新手法を導入。製造現場で働く人の意思決定や介入操作に着目した革新活動を進めています。高岡工場では2008年12月より生産革新の取り組みを開始、ものづくり部門(製造課、設備管理課、生産革新室)を集約し、「自律的改善サイクルを回せる人づくり」を進めています。今回のIPC竣工は、高岡工場における生産革新活動の中核拠点としてさらなる人づくりを加速させる期待が持たれています。さらに今後の拡張にも柔軟に対応できる配置にしたほか、働く社員にとって魅力的な職場づくりにも貢献します。

10月18日(火)に現地にて執り行われた竣工式には、富山県および高岡市ならびに周辺自治会からご来賓をお招きしたほか、施工関係者、また代表取締役社長 田中 公章、高岡工場長 宮城 孝一ほか当社関係者を合わせ、34名が参加しました。

当社は中期経営計画の全社戦略の1つに“カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する”を掲げています。今回竣工したIPCは「ものづくり」の中心となる施設であり、当社が今後持続可能なものづくりを実現していく上で重要な施設です。今後も徹底した安定・安全生産を通じ、社会の期待に応える製品・サービスの提供に努めてまいります。



竣工した統合生産センター(IPC)

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747